

2020年7月19日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第63巻第15号(通算3192号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{かみさま} ^{つく} ^{いのち}
神様が創られたすべての命を
^{たいせつ} ^{きょうかい}
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
聖霊降臨節 第8主日礼拝

そうがく
奏楽

さん

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば しへん
招きの詞 詩編

へん せつ
96編 1-3節

さん び か ばん なのか たびじ きょうだんさん びか いいんかい
賛美歌 206番「七日の旅路」(©教団讚美歌委員会)

せい しょ ふくいんしよ しやう せつ
聖 書 ヨハネによる福音書 5章 24-30節

いの
お 祈り

さん び か ばん ぜんち しゅ うた きょうだんさん びか かいいていいんかい
賛美歌 145番「全地よ、主に歌えよ」(©教団讚美歌改訂委員会)

し いのち みずたに けん ぼくし
メッセージ「死から命へ」 水谷 憲 牧師

さん び か ばん ひと め ちょうさくけんしやうめつ
賛美歌 360番「人の目には」(©著作権消滅)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きょうだんさん びか かいいていいんかい
主の祈り 62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

けん きん ばん いま
献 金 (*) 21-65-1番「今そなえる」

は けん ばん かみ めぐ う
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(©JASRAC)

しゅく ふく みずたに けん ぼくし
祝 福 水谷 憲 牧師

こう そう ばん きょうだんさん びか かいいていいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こう ページ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りになっ

たままで礼拝にご参加ください》

《礼拝中、インターネットで中継配信を行っています》

*「献金」は参加費ではございません。受付に献金箱がございます。

ご用意のある方のみ、お献げください。



招きの詞 詩編 96編 1-3節

¹新しい歌を主に歌え。

全地よ、主に向かって歌え。

²主に歌い、その名をたたえ

日ごとに救いの良い知らせを告げよ。

³国々に、主の栄光を

すべての民にその奇しき業を語り伝えよ。



聖書 ヨハネによる福音書 5章 24-30節

²⁴よくよく言うておく。私の言葉を聞いて、私をお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁きを受けることがなく、死から命へと移っている。²⁵よくよく言うておく。死んだ者が神の子の声を聞き、聞いた者が生きる時が来る。今がその時である。²⁶父が、ご自身の内に命を持っておられるように、子にも自分の内に命を持つようにしてくださったからである。²⁷また、父は裁きを行う権能を子にお与えになった。子は人の子だからである。²⁸このことで驚いてはならない。時が来ると、墓の中にいる者は皆、人の子の声を聞く。²⁹そして、善を行った者は復活して命を受けるために、悪を行った者は復活して裁きを受けるために出て来るであろう。

³⁰私は自分からは何もできない。聞くままに、裁く。そして私の裁きは正しい。それは、私が自分の意志ではなく、私をお遣わしになった方の御心みこころを求めているからである。」



《先週のメッセージより》7月12日 部落解放祈りの日礼拝

メッセージ「光は一隅より、力是一人より」より

牛田 匡 牧師

聖書：使徒言行録 9章36 - 43節

「光は一隅より、力是一人より」(坂村真民)。世界に朝をもたらす光も、始めは暗闇に一隅から射してくる小さな光に過ぎません。同じように社会を動かす大きなうねりも、最初は一人から始まっています。全国各地で起こった部落解放運動もまた一人一人の小さな光、小さな立ち上がりの一歩から始まっていたのでしょ。イエス様の歩みも、そしてまた今回のタビタの物語もまた、そのような暗闇の中に起こった小さな一人の物語でした。

このタビタは「女の弟子」だったとありますが、この言葉はこの箇所にはしか出て来ません。福音書にはたくさんの女性たちがイエス様と行動を共にしたと記されていますし、最初期のキリスト教共同体には何人もの女性リーダーたちがいたと考えられています。ここで「女の弟子」と記されているタビタは、ヤツファのキリスト教共同体にとって重要な人物だったのでしょ。彼女の周りには多くの人々が集まっていたが、とりわけ寡婦となった女性たちが共にいたようです。当時の社会の中では、女性は夫の所有物の一つであり、先に夫を亡くしたやもめたちは、社会的な地位も財産も失い、すぐに生活に困窮しました。タビタはそのような女性たちと一緒に数々の下着や上着を作っていました。現代の言葉で言うと、洋裁やミシンの技術を教えて、暮らしていけるように職業訓練していったということでしょう。彼女たちにとってタビタは命の恩人であり、掛け替えのない存在だったのだと思います。そのタビタが病気のために亡くなった所に、ペトロは呼ばれて来て祈り、タビタは再び立ち上がりました。この生き返りの物語は、社会の底辺で小さくされている人々の所に、神様の力が紛れもなく働かれる。そして、悲しみに打ちひしがれていた人々は、再び立ち上がることが出来たということをお私たちに教えてくれます。

先週から、全国各地で大雨が続き、九州や岐阜、長野でも大きな被害が出ています。今後も更に被害が拡がることも心配されています。家族や家を失った方々は今、深い悲しみの中におられることでしょう。そのような中、早速現地に行かれた方々もおられます。またこれまでに培われて来た様々なネットワークを通じて、必要な物資を届けておられる方々もおられます。一人一人の思いや行動は小さくても、それらは決してゼロではありません。「微力であっても、無力ではない」、そこに共に神様が働いて下さっていることを信じて、私達も連なって行きたいと思ひます。「光は一隅より、力是一人より」。部落差別も、性差別や人種差別も、まだこの社会から無くなっていません。しかし、それらの暗闇を照らす光は、世の片隅、一隅から射して来ます。解放をもたらす力是一人から始まります。私達は今日もそれぞれの場と業において、弱く小さくされている人達と共にいる神様に向かって、用いられていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (7月12日)

礼拝出席 大人6名 献金 7,000円 感謝 聖書を読む会 参加者5名

◎次週 2020年7月26日(日) 聖霊降臨節第9主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 43章 1-3a節 聖書 使徒言行録 27章 33節-44節

メッセージ「嵐の中でも、共にいる神様」牛田匡牧師

賛美歌 21-451番 21-462番 21-516番 奏楽 さん

礼拝をインターネットで中継配信いたします。中継はホームページにて10時半頃よりご視聴いただけます。

礼拝の中で、7月の誕生者祝福式を行います。また礼拝後には、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。(これまでは特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」で行っていましたが、新型コロナウイルス感染予防のために大阪好意の庭では、外来者の出入りを制限しておりますので、先月に引き続き今月も久宝教会にて行います)

◎ お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染予防のために、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。また咳・発熱・味覚異常・倦怠感・風邪症状のある方や、新型コロナウイルス感染者と接触された方は、ご自宅でお休み頂き、お祈りをもってお過ごしください。なおご入り用の方には教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、ご遠慮なさらず、どうぞお持ち帰りください。今後も、皆で集まる形での礼拝の休止など、状況が変わり次第、最新の情報についてはお知らせいたします。
- ・九州地方を始め全国各地で豪雨被害が出ています。それらの被災地支援をしている諸団体の活動について、報告をお知らせしています。先週の礼拝にて皆様から頂きました緊急支援献金10,000円を、被災地にて炊き出しや泥出しなどの作業に当たっておられる一般社団法人「神戸国際支援機構」にお届けいたしました。ご協力をどうもありがとうございました。同団体のホームページにその活動が紹介されています。<http://kisokobe.sub.jp/>
- ・毎年8月に行われている「部落解放青年ゼミナール」(日本キリスト教団部落解放センター主催)ですが、今年は新型コロナ対応のために、残念ながら中止となりました。
- ・「第3回『子ども脱被ばく裁判』への公正な審議と判決を求める署名」は、合計で100名の方々からのご署名をいただいて、教会からまとめて送付いたしました。大勢の方々から、ご協力いただきどうもありがとうございました。
- ・介護現場などで感染症対策に奮闘されている方々に対して、「感染症と闘う医療・介護従事者の話を聴く会」では、心理専門職・傾聴有資格者がインターネット(オンライン)で傾聴するサービスを提供しています(無料)。詳しくはホームページをご参照ください。

<https://careforcovidfighte.wixsite.com/caremedical>

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	奏楽	メッセージ	行事
7/26	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)		牛田牧師	おにぎり支援・誕生者祝福式
8/2			牛田牧師	平和聖日・ユウカリスト
8/9			水谷牧師	
8/16			牛田牧師	聖書を読む会

ぼやき
聞きます

心の重荷をちょっとおろしにしませんか？

新型コロナウイルスの流行で、困っている方々を
心療内科、精神科、心療内科、福祉、介護、子育て支援など、
医療、生活支援事業のさまざまな分野から支援します。
※医療機関でなく、民間機関でのサービス提供となります。

詳しくは「医療従事者と闘う医療従事者の話を聴く会」HPへ